

10月19日(木) A会場 一橋講堂

開会の挨拶 16:00~16:05

大会長講演 (PL) 16:05~16:55

ICD-11 に見る精神病理学の役割

司会：赤崎 安昭(鹿児島大学医学部保健学科)

東京都立松沢病院
針間 博彦

特別シンポジウム (SS) 17:00~19:40

中井久夫先生の業績

司会：田中伸一郎(東京藝術大学保健管理センター)

松本 卓也(京都大学大学院人間・環境学研究科)

- SS-1 精神医学における統合失調症を机上から解放し、積極的な治療対象に転換した
往診メンタルクリニック ゆっくり
星野 弘
- SS-2 中井久夫という場所
社会医療法人愛仁会高槻病院精神科
杉林 稔
- SS-3 中井久夫の偽装と貫徹—あるいは、中井久夫と2つの「医局」—
大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科
岩井 圭司
- SS-4 「臨界期」から「風景構成法」を駆け抜けて—中井久夫先生との思い出—
多摩美術大学リベラルアーツセンター
伊集院清一
- SS-5 トラウマを作らない治療と支援を心がける
(公財) 慈圭会精神医学研究所
青木 省三

10月19日(木) B会場 中会議室3・4

一般演題 1 (O1) 16:05~17:20

統合失調症：症例

座長：松浪 克文(関東中央病院メンタルヘルスセンター)

- O1-1 加害者家族というトラウマを抱えた男性統合失調症患者に風景構成法を施行した一例
京都府立洛南病院
清水 健信

- O1-2 単純型統合失調症と診断することで、理解と対応がはっきりしてきた、措置入院患者の精神病理学的な考察
医療法人社団光風会 三光病院
浦田 誠
- O1-3 症例報告：アンドロイドを名乗る患者の治療から、統合失調症治療の理論的基礎を考察する
札幌トロイカ病院
松田 能子

評議員会

19:45~20:45

10月20日(金) A会場 一橋講堂

一般演題 2 (O2)

9:30~10:20

神経発達症を再考する

座長：兼本 浩祐(中部PNESリサーチセンター)

- O2-1 神経症の不安、ASDの不安——主体の生成という視点から
生生会 松蔭病院
鈴木 國文
- O2-2 双極性障害の顕現と潜伏—ゲシュタルト変換する ADHD—
もみじヶ丘病院
芝 伸太郎

シンポジウム 1 (S1)

10:25~12:45

精神疾患の有意義性とナラティブィティ

司会：村井 俊哉(京都大学大学院医学研究科 精神医学)

榊原 英輔(東京大学医学部附属病院 精神神経科)

- S1-1 Schneider Kの意味合法則性、意味連続性とは
聖マリアンナ医科大学 神経精神科学
古茶 大樹
- S1-2 精神分析の立場から見た 精神疾患の有意義性とナラティブィティ
ひいらぎクリニック
小波藏かおる
- S1-3 ナラティブ・アプローチの心理療法の立場から見た
精神疾患の有意義性とナラティブィティ
大阪大学大学院人間科学研究科
野村 晴夫
- S1-4 精神症状の三つの有意義性—生物学的意味・心理的意味・物語的意味—
東京大学医学部附属病院 精神神経科
榊原 英輔

特別講演 1 (SL1)

13:55~14:55

統合失調症は「自我の病」にらず
—拙論「状況意味失認-内因反応仮説」研究の裏面史—

司会：針間 博彦(東京都立松沢病院)

医療法人原会 原病院
中安 信夫

教育講演 (EL)

15:00~16:00

ICD-11 と日本の精神医学

司会：古茶 大樹(聖マリアンナ医科大学 神経精神科学)

飯田病院/日本うつ病センター/九州大学名誉教授
神庭 重信

シンポジウム 2 (S2)

16:05~18:25

パーソナリティ症とは何か？—categorical vs. dimensional

司会：前田 貴記(慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)

玉田 有(東京医科大学八王子医療センター)

S2-1 パーソナリティ症診断のパラダイム・シフト

九州大学大学院人間環境学研究院
黒木 俊秀

S2-2 心理学からみたパーソナリティ症ディメンショナルモデル

帯広畜産大学
渡邊 芳之

S2-3 パーソナリティ・人格から見る精神病理・精神科臨床：Jaspers の「人格」論から

西ヶ原病院
林 直樹

指定討論 ICD-11 パーソナリティ症における社会的コンテキストを勘案した動的視点の臨床的有用性

医療法人心救会 小山富士見台病院
加藤 敏

10月20日(金) B会場 中会議室 3・4

ワークショップ 1 (W1)

10:25~11:15

中井久夫の臨床

座長：岩井 圭司(大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科)

W1-1 いじめられっ子の中井久夫先生—その精神療法の特質の病跡学的考察—

愛知県精神医療センター
吉岡 眞吾

W1-2 中井久夫研究 (1)

京都府立洛南病院
清水 健信

ワークショップ 2 (W2)

11:15~12:30

精神病理学のこれから

座長：鹿島 晴雄(慶應義塾大学医学部/中山病院)

- W2-1 21世紀における精神病理学の可能性
西八王子病院 内科
山田 博規
- W2-2 PTMF時代の精神病理学に期待されるもの
東京藝術大学保健管理センター¹⁾、新百合ヶ丘総合病院精神科²⁾
田中伸一郎¹⁾、戸部有希子²⁾
- W2-3 若手・専攻医に対する精神病理学教育の方法論を考える
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
滝上 紘之

ランチョンセミナー 1 (LS1)

12:55~13:45

双極症 I 型の治療

司会：水野 雅文(東京都立松沢病院)

順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学 医学部精神医学講座
加藤 忠史

共催：大塚製薬株式会社

ワークショップ 3 (W3)

16:00~16:50

Jaspers と了解/理解

座長：熊崎 努(東京農工大学保健管理センター)

- W3-1 ヤスパースの「了解概念」と「現象学的還元」
向ヶ丘メンタルクリニック
柏田 勉
- W3-2 精神病理学と解釈学
大阪公立大学現代システム科学研究科
総田 純次

ワークショップ 4 (W4)

16:50~17:40

Schneider と構造分析

座長：岡 一太郎(もみじヶ丘病院)

- W4-1 『臨床精神病理学』の二源泉
—クルト・シュナイダーをビルンバウム、シェーラーから眺める景色—
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
菅原 一晃
- W4-2 構造分析 (Birnbaum) の有用性を検討する
西毛病院¹⁾、聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科²⁾
工藤 弘毅^{1,2)}

ワークショップ 5 (W5)

17:40~18:30

木村敏の「あいだ」

座長：芝 伸太郎(もみじヶ丘病院)

- W5-1 生命と自然から愛と歴史へ——木村敏の「あいだ」概念について
京都府立洛南病院
清水 健信
- W5-2 操作的診断基準・科学的精神医学と臨床哲学・「あいだの気」療法
和みのクリニック
丹羽和賀美

10月20日(金) C会場 中会議室 1・2

モーニングセミナー (MS)

9:30~10:20

令和時代の遅発性ジスキネジアの予防・治療についてあらためて考える

司会：松尾 幸治(埼玉医科大学医学部精神医学)

杏林大学医学部精神神経科学教室
坪井 貴嗣

共催：ヤンセンファーマ株式会社/吉富薬品株式会社

一般演題 3 (O3)

10:25~11:40

症状と診断

座長：大塚公一郎(自治医科大学看護学部)

- O3-1 うつにみられる過去志向性：後悔について
筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター精神科
佐藤 晋爾
- O3-2 思考形式の障害あるいは注意・集中の障害と、それでは説明困難な言動
京都大学大学院医学研究科 精神医学教室¹⁾、
独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 精神科²⁾
植野 仙経^{1,2)}
- O3-3 内因性精神病における長期経過研究の「経過の精神病理学」への寄与について
国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科
古城 慶子

一般演題 4 (O4)

11:40~12:30

強迫症

座長：西岡 和郎(特定医療法人共和会共和病院)

- O4-1 強迫症と統合失調症の併存例の発症契機と洞察に関する考察
東京都立松沢病院精神科¹⁾、東京都立松沢病院²⁾
岡村 泰¹⁾、針間 博彦²⁾、水野 雅文²⁾

O4-2 中井久夫における強迫症の試論的検討

社会福祉法人 青い鳥 小児療育相談センター¹⁾、
 一般財団法人 多摩緑成会 緑成会整育園²⁾、
 医療法人社団 廣和会 藤本クリニック³⁾、
 医療法人社団 廣和会 中島クリニック⁴⁾、学校法人 帝京平成大学⁵⁾
 田中 宏明^{1,2,3,4,5)}

ランチョンセミナー 2 (LS2)

12:55~13:45

成人期発達障害とうつ状態

司会：正木 秀和(東京都立松沢病院 精神科)

昭和大学医学部 精神医学講座
 岩波 明

共催：武田薬品工業株式会社/ルンドベック・ジャパン株式会社

一般演題 5 (O5)

16:05~16:55

妄想の周辺

座長：関 由賀子(三菱電機本社健康増進センター)

O5-1 頭皮・頭髪の異常感覚を主訴とするセネストパチー

青森県立つくしが丘病院
 敦賀 光嗣

O5-2 自己臭症再訪——日本の研究の軌跡と国際的動向——

自治医科大学精神医学講座
 小林 聡幸

一般演題 6 (O6)

16:55~18:10

現代社会と症例

座長：小笠原将之(関西福祉科学大学 心理科学部)

O6-1 「ガチャ」による課金が問題となったゲーム行動症の青年例

東京都立松沢病院
 稲熊 徳也、針間 博彦、水野 雅文

O6-2 ナルシシズムの病理と異邦人であること—抑うつ、不安を呈する外国人事例をもとに—

六番町メンタルクリニック
 清水加奈子

O6-3 COVID-19 感染をストレスラーとして精神科疾患を発症した患者の臨床的特徴

東京都立松沢病院
 福田 陽明、針間 博彦、水野 雅文

10月20日(金) 学士会館 2F 「201」

懇親会

18:40~20:30

10月21日(土) A会場 一橋講堂

シンポジウム3 (S3)

9:30~11:50

歴史的鑑定事例から学ぶ 第1回 統合失調症圏

司会：中谷 陽二(筑波大学名誉教授)

関 由賀子(三菱電機本社健康増進センター)

- S3-1 レーガン大統領銃撃事件—フィクションの力
筑波大学名誉教授
中谷 陽二
- S3-2 金閣放火事件の精神病理
東京藝術大学名誉教授
内海 健
- S3-3 宮崎勤精神鑑定—3通の鑑定書はどこで・どう違ったのか—
医療法人原会 原病院
中安 信夫

総会

12:05~12:25

特別講演2 (SL2)

13:35~14:35

病後の生活史

司会：大前 晋(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 精神科)

桜クリニック
笠原 嘉

特別講演3 (SL3)

14:40~15:40

Kraepelin 疾病論の現代的意義

司会：古茶 大樹(聖マリアンナ医科大学 神経精神科学)

東京工業大学名誉教授/郡山精神医療研究所顧問
影山 任佐

シンポジウム4 (S4)

15:45~18:05

症状用語を深掘りする一質的な症状学に向けて

司会：古城 慶子(国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科)

佐藤 晋爾(筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター精神科)

- S4-1 精神科における診断妥当性—“zone of rarity”をめぐって
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 精神科
大前 晋
- S4-2 奇異 (bizarre) な妄想について
東京農工大学保健管理センター
熊崎 努

S4-3 連合弛緩から思考形式の障害へ——Bleuler 症候学の「解体」

京都大学大学院人間・環境学研究科
松本 卓也

S4-4 「はっきり他と区別できる性質の抑うつ気分」をどのように区別するのか

東京医科大学八王子医療センター
玉田 有

閉会の挨拶

18:05~18:10

10月21日(土) B会場 中会議室3・4

ワークショップ6 (W6)

10:20~11:10

中動態

座長：野間 俊一(のまこころクリニック)

W6-1 中動態的自己概念の展開

五稜会病院
千丈 雅徳

W6-2 世界と自己の構成について—中動態のプロセスの観点からの考察—

関西福祉科学大学 心理科学部
小笠原將之

一般演題7 (O7)

11:10~12:00

心と診断

座長：鈴木 國文(生生会 松蔭病院)

O7-1 精神医学が扱う「心」とは何か？

東京大学医学部附属病院 精神神経科
榊原 英輔

O7-2 幾多の相乗的不遇を抱えた女性の精神科診断

～精神医学ができること、人はどうやって育つのか～
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院
榎戸美佐子

ランチョンセミナー3 (LS3)

12:35~13:25

精神疾患の睡眠・生体リズム異常—最近のトピックスと臨床への展開—

司会：今井 淳司(東京都立松沢病院 精神科)

日本大学医学部精神医学系
鈴木 正泰

共催：エーザイ株式会社

一般演題 8 (08)

15:45~17:00

統合失調症：成因論

座長：前田 貴記(慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)

- O8-1 François Tosquelles による Heidegger に依拠した主体生成論
中部大学 生命健康科学部
中川与四郎
- O8-2 語られなかった緊張病—進化精神医学の視点より
三次病院
佐々木康史
- O8-3 どのような事態が“統合失調症性”なのだろうか
東北文化学園大学
二木 文明

一般演題 9 (09)

17:00~17:50

ヒステリー論再考

座長：大塚公一郎(自治医科大学看護学部)

- O9-1 シャルル・ラセーグとヒステリー性拒食—精神医学における生氣論の遺産
自治医科大学精神医学教室¹⁾、小山富士見台病院²⁾
西依 康¹⁾、稲川 優多¹⁾、加藤 敏²⁾
- O9-2 目的反応の歴史的背景と今後の展望
三恵病院
池田 和弘

10月21日(土) C会場 中会議室1・2

一般演題 10 (010)

9:30~10:20

気質と特性

座長：阿部 隆明(小山富士見台病院)

- O10-1 分裂気質(クレッチマー)と敏感関係妄想と自閉症スペクトラム
筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター精神科
佐藤 晋爾
- O10-2 てんかんと宗教：「説教臭さ」の病理
帝塚山学院大学
深尾憲二郎

一般演題 11 (O11)

10:20~11:10

治療関係

座長：古橋 忠晃(国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 総合保健体育科学センター)

O11-1 治療関係における participant な相互作用について

医療法人交正会 精治療病院

柴田 啓輔、川合 一嘉

O11-2 考えの違いを尊重する関係性の治療的意義

京都大学医学部附属病院精神科神経科

藤田 芳久

一般演題 12 (O12)

11:10~12:00

精神病理と ECT座長：佐々木雅明(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院精神科/
聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科)**O12-1 中脳黒質変性所見を示す高齢期うつ病症例の臨床的分類と修正型電気けいれん療法の可能性について**和合病院¹⁾、愛知県精神医療センター²⁾山口 世堯¹⁾、吉岡 眞吾²⁾**O12-2 器質力動論に照らして ECT を考える試論**

東北福祉大学せんだんホスピタル

高野 毅久

ランチョンセミナー 4 (LS4)

12:35~13:25

統合失調症と ASD の病態生理～共通点と相違点～

司会：前田 貴記(慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)

奈良県立医科大学 精神医学講座

牧之段 学

共催：住友ファーマ株式会社

一般演題 13 (O13)

15:45~17:00

家族と精神病理

座長：清水 光恵(伊丹健康福祉事務所/兵庫県精神保健福祉センター)

O13-1 精神科臨床における家族システムの考察

紫雲会横浜病院

松尾研一郎

O13-2 夫婦におけるピュシスとノモスの精神病理三成会 新百合ヶ丘総合病院¹⁾、東京芸術大学保健管理センター²⁾戸部有希子¹⁾、田中伸一郎²⁾

- O13-3 心的外傷（に起因する病的状態）を精神病理学的に理解するための試み**
医療法人陽善会 坂之上病院¹⁾、鹿児島県立始良病院²⁾、鹿児島大学保健学科³⁾、
鹿児島大学保健管理センター⁴⁾
小城くみこ¹⁾、楠本 朗¹⁾、堀切 靖²⁾、赤崎 安昭³⁾、森岡 洋史⁴⁾

一般演題 14 (O14)

17:00~17:50

病歴学

座長：小林 聡幸(自治医科大学精神医学講座)

- O14-1 病歴記録の学術的価値に関する考察**
—統合失調症に罹患した名家当主の生涯を巡って—
弘前大学社会医学講座¹⁾、獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科²⁾
小島 光洋¹⁾、井原 裕²⁾
- O14-2 チャイコフスキーの人生と楽曲にみる「懐かしさ」の病理**
さとうメンタルクリニック
佐藤 寛